

## 令和5年度第9回 市政懇談会（会議要旨）

日時	令和5年10月26日（木） 18時30分 ～ 19時30分
場所	東岐波ふれあいセンター
テーマ	①子育て支援、②健康・スポーツ、③外国人実習生
出席者	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 篠崎市長</li> <li>○ 東岐波地区代表者（7名） 丸尾原子ども会会長ほか2名、丸尾原自治会区長、Goppoええぞなクラブ代表 中学校クラブ活動指導員、大田自治会長</li> <li>○ 東岐波市民センター、こども政策課、こども支援課、保育幼稚園課、スポーツ振興課、 観光交流課、広報広聴課</li> </ul>
内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 避難所として使用することがある小中学校や自治会館のトイレを洋式化してほしい。 （丸尾原子ども会会長） →小中学校では順次洋式化を進めており、避難所には洋式の簡易トイレキットを準備している。（市長）</li> <li>○ 子どもと一緒に歩いて行ける、ちょっとした遊具がある公園をつくってほしい。（丸尾原子ども会） →大型遊具と駐車場がある公園をつくってほしいという多くの声を受け、「山口宇部ふれあい公園インクルーシブ大型遊具広場」を整備した。また、様々な遊び道具を積載した自動車で、希望する場所に向くプレーカー事業「GO!GO!あそぼうCAR」を実施しているので、ぜひ利用してほしい。（市長）</li> <li>○ 病児保育の利用時間を延長してほしい。（丸尾原子ども会会長） →利用時間の延長は病院の負担が増えることになるので難しい状況である。しかし、急に病児保育を利用する時に安心して利用できるように、今年度からネットで予約ができる取組を始めた。お子さんが夜中に発熱した場合、病院が始まる8時から予約をするのではなく、事前にネット予約をして8時から預けることが可能になっている。（市長）</li> <li>○ 通学路の定期的な清掃や草刈り、車のスピード制限などの安全対策をしてほしい。特に丸尾踏切の幅が狭い。（丸尾原子ども会会長） →草刈りについては、日常的な管理は地域の皆様と協力しながら実施していきたい。個人宅（空き家）から生えている草で、一般の通行に支障がでているものは刈れるように条例を改正した。車のスピード制限については、ゾーン30の設定や、警察に見回りを依頼するなどの手法がある。通学で危険な箇所は、通学路の安全点検で学校等に伝えてほしい。丸尾踏切に関しては地域からの要望もあり、JRと協議しているが、改善は難しい状況である。今後も警察や関係機関と連携して、通学路の安全協議会で議論を重ねていきたい。（市長）</li> <li>○ 保育料の無償化や子どもの医療費無償化が開始されたが、高校生の子育て支援の対応</li> </ul>

	<p>もお願いしたい。高校生は通学費もかかる。(丸尾原子ども会)</p> <p>→現在、中学生までの医療費無償化を実現しているが、対象を拡充したいと考えている。通学費については、くすのき号を通学で利用する高校生の運賃を無料にした。今後も、子育て支援に取り組みたい。(市長)</p> <p>○ 市民プールをつくってほしい。夏休みに行く場所に困る。(丸尾原子ども会会長)</p> <p>→新たにプールをつくと相当なコストを要する。現在、市内には民間プールが4箇所あり、夏には子ども向けに「ときわ公園内 じゃぶじゃぶ池」を開設している。学校プールの解放は学校の協力が必要であるが、様々な手法を活用していきたい。(市長)</p> <p>○ 夏休み期間中の学校プールの開放は土・日にしてほしい。(丸尾原子ども会)</p> <p>→土・日に開放するためには、プールの機械を操作する人員を学校に頼るのではなく、地域等で確保する必要がある。(スポーツ振興課長)</p> <p>→学校に負担をかけず、地域で対応が可能な仕組みに取り組んでいきたい。(市長)</p> <p>○ どうすれば子育て支援の情報が保護者に届くか。(市長)</p> <p>→ときわ公園のチラシ等、小中学校では同時期に同じようなチラシが大量に配られている。一度に大量配付とならないように考慮して配付したらどうか。(丸尾原子ども会)</p> <p>○ JR 宇部線は昼間の本数が少なく、特に学校のテスト期間中が不便と感じる。(丸尾原子ども会会長)</p> <p>→現状、JRの増便は難しい状況にあるが、ぜひバスを利用してほしい。他市では公共交通が廃止となる事例もあるが、宇部市として公共交通は維持していきたい。(市長)</p> <p>○ がん検診を無料にしてほしい。(丸尾原自治会区長)</p> <p>→がん検診費用の助成はあるが、山口県は検診率が低く、まずは市民の意識改革が必と考える。検診率を上げるために、山口大学医学部と連携した受診勧奨や小学生を対象としたがん教育などを行っている。(市長)</p> <p>○ スポーツする人を増やしたい。スポーツをすることでSDGsを達成しているというPRをしてはどうか。(Goppoええぞなクラブ代表)</p> <p>→スポーツ人口を増やすには、楽しみながらスポーツができる環境整備が大事と考える。運動したらポイントを付与している「はつらつ健幸ポイント」は今年5年目だが、医療費削減の効果があつたという結果が出ている。また、西部体育館に健康遊具を設置したので、専門家である理学療法士と運動プログラムを考えていきたい。(市長)</p> <p>○ 中学校部活動の地域移行に関して指導者の確保に困っている。競技によっては資格が必要だが資格を取るのに1年、費用が5万円かかる。宇部市スポーツコミッションの助成は最大2万円しかない。また、部活にかかる費用について、移行後3年目までは無料だがそれ以降は有料になる。部活を続けられない家庭も増えるのではと懸念している。(Goppoええぞなクラブ代表)</p> <p>○ 地域移行したら、部活動から帰る時間も2時間くらい遅くなるのではと心配している。また、現状として、先生がバレーやバスケット等競合する競技の体育館の日程調整をしている。(中学校クラブ活動指導員)</p> <p>→これから部活動の地域移行の制度をつくっていくところだが、予算等も確保してい</p>
--	---

	<p>く必要がある。移動の安全性や経験の貧困にならない仕組みづくりなど様々な課題がある。本日のご意見は課題として持ち帰りたい。(市長)</p> <p>○ 日本語で書いてある注意書きの掲示板や看板が読めない外国人実習生がいるので、外国人が読めるように工夫してほしい。また、外国人実習生が日本のコミュニティで話をする場所がほしい。(大田自治会長)</p> <p>→今年度、宇部市多文化共生推進ビジョンの策定を進めている。宇部市で暮らしている外国人に困りごとのアンケート調査を実施した。現在、アンケート結果を集計中だが、アプリによる掲示板の変換や防災講座、食べ物などの互いの文化を知る取組、相談窓口の設置等、このビジョンに基づいて取り組んでいきたい。新しい文化を受け入れる寛容な自治体ほど、様々な人材が集まり成長産業につながっている。(市長)</p>
課題等	<p>○ 部活の地域移行における指導者の確保、予算、経験の貧困にならない仕組みづくり、教員がしている体育館の日程調整、遅い時間の帰宅の安全性等の課題について、今後の制度設計の中で検討していく。</p>